

第Ⅶ期 事業報告書

2016年6月1日～2017年5月31日

当法人の活動目的は、人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくことである。そのために、以下3つの活動を行い、また当法人の組織基盤の強化も図りながら、日本の動物福祉を世界トップレベルまで引き上げていくことを目指す。

なお、②及び③については第7期において変更認定申請を行い、認定を受けた。

- ① 動物福祉活動に従事する非営利法人に対して寄付支援を中心とする活動支援
- ② 動物福祉に対する考え方や情報を社会に発信していくセミナー等の企画運営
- ③ セミナー、WEB掲載等に活用するための情報リサーチ

1. 寄付支援事業

【目的と意義】

2011年9月にカットオーバーされた「アニマル・ドネーション」を通じて、支援先団体と寄付者を結び付ける事業である。支援先団体としては、遺棄動物の保護団体や補助犬育成団体や動物愛護の精神を啓発する団体等を対象としている。これらの対象法人の活動資金源の過半は「寄付」である。寄付による支援活動を活発化させることにより、動物福祉の底上げを図ることを目的としている。また、誰もが気軽に寄付による支援が行えるオンラインでの寄付システムの提供や、企業等と協力した寄付の仕組みを提供することで、日本に寄付文化が定着していくことに貢献することも目的としている。

1) 個人からの寄付支援事業

クレジットカードによるオンライン寄付システムを提供し、個人からの寄付を集め、支援先団体へ届ける事業。また、寄付金を募りやすい環境を作るために、支援先団体向けの活動支援や情報共有、勉強会運営、印刷物発行などを行う。寄付者に対しては、支援先団体の活動状況や、寄付金の使途、課題に対する情報などを、オンラインサイト内の記事やSNSなどを利用して提供する。

個人からの今期の寄付金額は、383万円、累計では、1,260万円となり、支援先団体数は2017年5月時点で16団体となっている。

2) 企業団体からの寄付支援事業

企業の社会貢献として当法人と協働した寄付企画を立案し実行する事業。企業の扱う商品の一部が寄付となる商品開発や、企業と協働した寄付キャンペーンの企画立案を行う。日本においても、近年は社会への貢献のあり方が多様化し、寄付を行いたいという企業は多くある。その際に、企業が寄付活動に取り組みやすい環境を作るために、企画立案やコンサルティングを行う。

企業団体からの今期の寄付金額は、1,487万円、累計では、6,300万円となった。

3) 資金調達の支援事業

近年はクラウドファンディングによる資金調達が盛んになってきている。当法人においても、ジャパングビング (<http://japangiving.jp/>) やその他のファンドレイジング事業者と業務提携をし、クラウドファウンディング事業(アニドネブリッジ)を2015年3月から開始している。当法人が推奨する動物福祉に関連したプロジェクトを紹介し、そのプロジェクトの達成による寄付資金の調達を側面支援する事業である。

今期のプロジェクト支援実績は0件となっている。

2. セミナー等の企画運営事業

【目的と意義】

犬や猫の動物飼養に対する正しい認知・知識を社会全体で持つことが、人も動物も暮らしやすい社会づくり、動物福祉の向上にとって重要である。特に、社会全体への発信力が大きいメディア関係者や動物飼養者との接点が多い動物事業関係者の認知・知識が底上げされていくことが重要と考える。

そこで、日本の動物福祉向上のキーパーソンとなっていく上記の業界関係者を対象とするセミナー等の開催を通じて、社会全体の認知・知識の向上を積極的に行っていく。

国内・海外の有識者をスピーカーに迎えてメディア関係者が動物飼養や動物福祉に関する歴史や正しい知識を持てるセミナーを開催する。また、動物事業関係者も交えて、現状の課題、ベストプラクティス等の情報を共有して共に学び合える機会を作っていく。

今期は、メディア関係者を対象にしたセミナーを1回開催、勉強会を1回開催した。

3. リサーチ事業

【目的と意義】

動物福祉に関する多様な考え方や情報を共有していくことが、社会全体の関心を高め、業界全体がボトムアップしていくために重要である。そこで、国内・海外の事例のリサーチ、専門家インタビュー等を通じて、動物福祉に関するナレッジを蓄積していく。

事例のリサーチに関しては、当法人のボランティアスタッフが書籍・WEBから情報を集めてまとめていく。

また、動物関係事業者や有識者へのインタビューや、関係者同士の勉強会も行いながら、業界が抱えている課題やベストプラクティスを学び合っていく。

そのようにして蓄積したナレッジは、セミナーで参加者に共有していき、また、当法人のサイト掲載を通じて広く社会に発信していく。

今期は、横浜商科大学と保護犬猫の飼養に関する共同リサーチ、および海外の動物福祉関連法令の比較をリサーチし、セミナー・勉強会で報告共有した。

4. 管理事業

【目的と意義】

当法人の目的や活動内容に理解・賛同をして、共に活動にしていだける方の拡大は、当法人の活動展開の上できわめて重要であり、活動の源となる。よって、当法人への会員になることで会費を提供いただく会員制度やボランティアという労力で活動を支える会員制度を設立し、活動規模を拡げる目的である。

1) 賛助会員制度の導入

一口3千円からの個人賛助会員と一口3万円法人賛助会員を設ける。入会した賛助会員に向けては、会報誌の配布を通じた活動報告、毎月のメールマガジンの配布を行い、理解と関心を深めていただく施策を実施している

今期は、個人賛助会員19口、法人賛助会員1口を募った。

2) スタッフの拡充

有償スタッフやボランティアスタッフを拡充し、組織運営の基盤強化を進めていく。活動内容は、会報誌の制作、SNSや当法人サイトを使つての情報発信、リサーチ活動、寄付金管理業務の強化を実施した。

今期は、ボランティアスタッフを約40人に拡充させた。

3) 外部アドバイザーボードの設置

法人運営の拡大や透明性を高めるために、動物学、経営学の有識者数名を外部アドバイザーに迎えて、「アニマル・ドネーション外部審議会」を設置する。年1回審議会を開催して、支援先団体の選定に関する審議や、当法人の運営についてアドバイスをもらった。

今期の審議会は、外部有識者4名、当法人の代表理事1名の合計5名で構成している。

以上

決 算 報 告 書

(第7期)

自 平成28年6月1日
至 平成29年5月31日

公益社団法人アニマル・ドネーション

貸借対照表

平成29年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,741,290	1,319,336	1,421,954
現 金	48,368	53,310	-4,942
普 通 預 金	2,692,922	1,266,026	1,426,896
流動資産合計	2,741,290	1,319,336	1,421,954
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
医 療 積 立 預 金	3,258,699	4	3,258,695
運 営 積 立 預 金	0	2,800,000	-2,800,000
認 定 団 体 支 援 準 備 金	1,000,000	0	1,000,000
情 報 管 理 及 び リ レ ー シ ョ ン 活 動 準 備 金	1,400,000	0	1,400,000
特定資産合計	5,658,699	2,800,004	2,858,695
固定資産合計	5,658,699	2,800,004	2,858,695
資産合計	8,399,989	4,119,340	4,280,649
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,670,110	494,782	1,175,328
預 金	22,970	19,907	3,063
流動負債合計	1,693,080	514,689	1,178,391
2. 固定負債			
長 期 借 入 金	705,106	455,106	250,000
固定負債合計	705,106	455,106	250,000
負債合計	2,398,186	969,795	1,428,391
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
寄 付 金	3,258,699	2,800,004	458,695
指定正味財産合計	3,258,699	2,800,004	458,695
(うち特定資産への充当額)	3,258,699	2,800,004	2,858,695
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	2,743,104	349,541	2,393,563
一般正味財産合計	2,743,104	349,541	2,393,563
正味財産合計	6,001,803	3,149,545	2,852,258
負債及び正味財産合計	8,399,989	4,119,340	4,280,649

正味財産増減計算書

平成28年 6月 1日から平成29年 5月31日まで

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 寄 付 金	87,000	25,500	61,500
受 取 寄 付 金	87,000	25,500	61,500
受 取 寄 付 金	710,738	752,524	-41,786
受 取 寄 付 金	566,106	752,524	-186,418
受 取 寄 付 金	144,632	0	144,632
受 取 寄 付 金	18,217,411	16,593,672	1,623,739
受 取 寄 付 金	18,217,411	16,593,672	1,623,739
受 取 寄 付 金	62	1,014	-952
受 取 寄 付 金	62	960	-898
受 取 寄 付 金	0	54	-54
経常収益計	19,015,211	17,372,710	1,642,501
(2) 経常費用			
事 業 費	14,346,336	16,183,220	-1,836,884
事 業 費	296,042	99,864	196,178
事 業 費	232,957	21,510	211,447
事 業 費	39,959	0	39,959
事 業 費	1,271,010	776,000	495,010
事 業 費	272,672	4,580	268,092
事 業 費	1,000	800	200
事 業 費	10,708,316	14,988,036	-4,279,720
事 業 費	540,000	0	540,000
事 業 費	524,440	0	524,440
事 業 費	428,160	276,510	151,650
事 業 費	29,700	12,420	17,280
事 業 費	2,080	3,500	-1,420
事 業 費	2,275,312	1,676,398	598,914
事 業 費	32,242	62,058	-29,816
事 業 費	8,870	3,180	5,690
事 業 費	1,286,936	701,954	584,982
事 業 費	42,768	228,200	-185,432
事 業 費	189,724	22,458	167,266
事 業 費	116,268	145,140	-28,872
事 業 費	25,000	0	25,000
事 業 費	0	5,700	-5,700
事 業 費	324,000	383,400	-59,400
事 業 費	75,600	0	75,600
事 業 費	81,432	115,668	-34,236
事 業 費	92,472	8,640	83,832
経常費用計	16,621,648	17,859,618	-1,237,970
評価損益等調整前当期経常増減額	2,393,563	-486,908	2,880,471
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,393,563	-486,908	2,880,471
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,393,563	-486,908	2,880,471
法人税、住民税及び事業税	0	58,300	-58,300
当期一般正味財産増減額	2,393,563	-545,208	2,938,771
一般正味財産期首残高	349,541	894,749	-545,208
一般正味財産期末残高	2,743,104	349,541	2,393,563
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	6,000,000	8,859,885	-2,859,885
受 取 寄 付 金	6,000,000	8,859,885	-2,859,885
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	-5,541,305	-8,358,313	2,817,008
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	-5,541,305	-8,358,313	2,817,008
当期指定正味財産増減額	458,695	501,572	-42,877
指定正味財産期首残高	2,800,004	2,298,432	501,572
指定正味財産期末残高	3,258,699	2,800,004	458,695
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,001,803	3,149,545	2,852,258

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
医療積立預金	4	6,000,000	2,741,305	3,258,699
運営積立預金	2,800,000	0	2,800,000	0
認定団体支援準備金	0	1,000,000	0	1,000,000
情報管理及びリレーション活動準備金	0	1,400,000	0	1,400,000
合 計	2,800,004	8,400,000	5,541,305	5,658,699

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
医療積立預金	3,258,699	3,258,699	0	0
運営積立預金	0	0	0	0
認定団体支援準備金	1,000,000	0	1,000,000	0
情報管理及びリレーション活動準備金	1,400,000	0	1,400,000	0
合 計	5,658,699	3,258,699	2,400,000	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金計上による振替額	5,541,305
合 計	5,541,305

財産目録

平成29年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	48,368
	預金	普通預金		2,692,922
		三井住友銀行広尾支店		2,691,922
		ゆうちょ銀行		1,000
流動資産合計				2,741,290
(固定資産)				
特定資産				
	医療積立預金	三井住友銀行広尾支店		3,258,699
	認定団体支援準備金	三井住友銀行広尾支店		1,000,000
	情報管理及びリレーション活動準備金	三井住友銀行広尾支店		1,400,000
固定資産合計				5,658,699
資産合計				8,399,989
(流動負債)				
	未払金			1,670,110
	(株)ケイズ		サイト製作費等	942,840
	丸山美穂		レスキューカート印刷費	180,620
	エヌ.74.シ-吉田印刷(株)		マガジン増刷	58,320
	(株)マスターピース		システム運用サービス	52,920
	未精算経費			435,410
	預り金			22,970
	源泉所得税			22,970
流動負債合計				1,693,080
(固定負債)				
	長期借入金			705,106
	峯岸衣里			705,106
固定負債合計				705,106
負債合計				2,398,186
正味財産				6,001,803

第Ⅷ期 事業報告書

2017年6月1日～2018年5月31日

当法人の活動目的は、人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくことである。そのために、以下3つの活動を行い、また当法人の組織基盤の強化も図りながら、日本の動物福祉を世界トップレベルまで引き上げていくことを目指す。

なお、②及び③については第7期において変更認定申請を行い、認定を受けた。

- ① 動物福祉活動に従事する非営利法人に対して寄付支援を中心とする活動支援
- ② 動物福祉に対する考え方や情報を社会に発信していくセミナー等の企画運営
- ③ セミナー、WEB掲載等に活用するための情報リサーチ

1. 寄付支援事業

【目的と意義】

2011年9月にカットオーバーされた「アニマル・ドネーション」を通じて、支援先団体と寄付者を結び付ける事業である。支援先団体としては、遺棄動物の保護団体や補助犬育成団体や動物愛護の精神を啓発する団体等を対象としている。これらの対象法人の活動資金源の過半は「寄付」である。寄付による支援活動を活性化させることにより、動物福祉の底上げを図ることを目的としている。また、誰しものが気軽に寄付による支援が行えるオンラインでの寄付システムの提供や、企業等と協力した寄付の仕組みを提供することで、日本に寄付文化が定着していくことに貢献することも目的としている。

1) 個人からの寄付支援事業

クレジットカードによるオンライン寄付システムを提供し、個人からの寄付を集め、支援先団体へ届ける事業。また、寄付金を募りやすい環境を作るために、支援先団体向けの活動支援や情報共有、勉強会運営、印刷物発行などを行う。寄付者に対しては、支援先団体の活動状況や、寄付金の使途、課題に対する情報などを、オンラインサイト内の記事やSNSなどを利用して提供する。

個人からの今期の寄付金額は、489万円、累計では、1,749万円となり、支援先団体数は2018年5月時点で17団体となっている。

2) 企業団体からの寄付支援事業

企業の社会貢献として当法人と協働した寄付企画を立案し実行する事業。企業の扱う商品の一部が寄付となる商品開発や、企業と協働した寄付キャンペーンの企画立案を行う。日本においても、近年は社会への貢献のあり方が多様化し、寄付を行いたいという企業は多くある。その際に、企業が寄付活動に取り組みやすい環境を作るために、企画立案やコンサルティングを行う。

企業団体からの今期の寄付金額は、1,633万円、累計では、7,933万円となった。

2. セミナー等の企画運営事業

【目的と意義】

犬や猫の動物飼養に対する正しい認知・知識を社会全体で持つことが、人も動物も暮らしやすい社会づくり、動物福祉の向上にとって重要である。特に、社会全体への発信力が大きいメディア関係者や動物飼養者との接点が多い動物事業関係者の認知・知識が底上げされていくことが重要と考える。

そこで、日本の動物福祉向上のキーパーソンとなっていく上記の業界関係者を対象とするセミナー等の開催を通じて、社会全体の認知・知識の向上を積極的に行っていく。

国内・海外の有識者をスピーカーに迎えてメディア関係者が動物飼養や動物福祉に関する歴史や正しい知識を持てるセミナーを開催する。また、動物事業関係者も交えて、現状の課題、ベストプラクティス等の情報を共有して共に学び合える機会を作っていく。

今期は、大学生、親子、犬の飼養者を対象にしたセミナーを開催した。

3. リサーチ事業

【目的と意義】

動物福祉に関する多様な考え方や情報を共有していくことが、社会全体の関心を高め、業界全体がボトムアップしていくために重要である。そこで、国内・海外の事例の研究、専門家インタビュー等を通じて、動物福祉に関するナレッジを蓄積していく。

事例の研究に関しては、当法人のボランティアスタッフが書籍・WEBから情報を集めてまとめていく。

また、動物関係事業者や有識者へのインタビューや、関係者同士の勉強会も行いながら、業界が抱えている課題やベストプラクティスを学び合っていく。

そのようにして蓄積したナレッジは、セミナーで参加者に共有していき、また、当法人のサイト掲載を通じて広く社会に発信していく。

今期は、横浜商科大学と保護犬猫の飼養に関する共同研究を行い、セミナー・勉強会で報告共有した。

4. 管理事業

【目的と意義】

当法人の目的や活動内容に理解・賛同をして、共に活動にしていだける方の拡大は、当法人の活動展開の上できわめて重要であり、活動の源となる。よって、当法人への会員になることで会費を提供いただく会員制度やボランティアという労力で活動を支える会員制度を設立し、活動規模を拡げる目的である。

1) 賛助会員制度の導入

一口 3 千円からの個人賛助会員と一口 3 万円法人賛助会員を設ける。入会した賛助会員に向けては、会報誌の配布を通じた活動報告、毎月のメールマガジンの配布を行い、理解と関心を深めていただく施策を実施している

今期は、個人賛助会員 44 口、法人賛助会員 3 口を募った。

2) スタッフの拡充

有償スタッフやボランティアスタッフを拡充し、組織運営の基盤強化を進めていく。活動内容は、会報誌の制作、SNSや当法人サイトを使っての情報発信、研究活動、寄付金管理業務の強化を実施した。

今期は、ボランティアスタッフを約 30 人体制としている。

3) 外部アドバイザーリーボードの設置

法人運営の拡大や透明性を高めるために、動物学、経営学の有識者数名を外部アドバイザーに迎えて、「アニマル・ドネーション外部審議会」を設置する。年 1 回審議会を開催して、支援先団体の選定に関する審議や、当法人の運営についてアドバイスをもらった。

今期の審議会は、外部有識者 4 名、当法人の代表理事 1 名の合計 5 名で構成している。

5. 税額控除に係る証明申請

寄付者の皆様から頂いた寄付が税額控除の対象となるように、税額控除に係る証明の申請を行い、平成 30 年 5 月 29 日から平成 35 年 5 月 28 日までの期間の証明書を受けることができた。

以上

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 平成29年6月1日
至 平成30年5月31日

公益社団法人アニマル・ドネーション

貸借対照表

平成30年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	353,297	2,741,290	-2,387,993
流動資産合計	353,297	2,741,290	-2,387,993
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
医療積立預金	0	3,258,699	-3,258,699
認定団体支援準備金	1,000,000	1,000,000	0
情報管理及びリレーション活動準備金	21,427	1,400,000	-1,378,573
WEBサイト構築準備金	2,160,000	0	2,160,000
特定資産合計	3,181,427	5,658,699	-2,477,272
固定資産合計	3,181,427	5,658,699	-2,477,272
資産合計	3,534,724	8,399,989	-4,865,265
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	314,607	1,670,110	-1,355,503
預り金	36,390	22,970	13,420
流動負債合計	350,997	1,693,080	-1,342,083
2. 固定負債			
長期借入金	0	705,106	-705,106
固定負債合計	0	705,106	-705,106
負債合計	350,997	2,398,186	-2,047,189
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
寄付金	0	3,258,699	-3,258,699
指定正味財産合計	0	3,258,699	-3,258,699
(うち特定資産への充当額)	0	3,258,699	-3,258,699
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	3,183,727	2,743,104	440,623
一般正味財産合計	3,183,727	2,743,104	440,623
正味財産合計	3,183,727	6,001,803	-2,818,076
負債及び正味財産合計	3,534,724	8,399,989	-4,865,265

正味財産増減計算書

平成29年 6月 1日から平成30年 5月31日まで

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	222,000	87,000	135,000
賛助会員受取会費	222,000	87,000	135,000
事業収益	678,897	710,738	-31,841
寄付支援事業収益	605,897	566,106	39,791
セミナー事業収益	73,000	144,632	-71,632
受取寄付金	24,476,424	18,217,411	6,259,013
受取寄付金	24,476,424	18,217,411	6,259,013
雑収益	105	62	43
受取利息	105	62	43
経常収益計	25,377,426	19,015,211	6,362,215
(2) 経常費用			
事業費	22,977,706	14,346,336	8,631,370
会議費	881,725	296,042	585,683
旅費交通費	739,875	232,957	506,918
通信運搬費	233,061	39,959	193,102
広告宣伝費	785,146	1,271,010	-485,864
消耗品費	323,714	272,672	51,042
保険料	17,000	0	17,000
租税公課	0	1,000	-1,000
支払寄付金	19,287,591	10,708,316	8,579,275
支払報酬	119,040	540,000	-420,960
委託費	0	524,440	-524,440
支払手数料	566,224	428,160	138,064
雑費	24,330	29,700	-5,370
諸会費	0	2,080	-2,080
管理費	1,959,090	2,275,312	-316,222
会議費	7,433	32,242	-24,809
旅費交通費	22,200	8,870	13,330
通信運搬費	815,669	1,286,936	-471,267
広告宣伝費	0	42,768	-42,768
消耗品費	37,574	189,724	-152,150
地代家賃	123,692	116,268	7,424
保険料	0	25,000	-25,000
租税公課	5,400	0	5,400
支払報酬	822,600	324,000	498,600
委託費	60,000	75,600	-15,600
支払手数料	64,522	81,432	-16,910
雑費	0	92,472	-92,472
経常費用計	24,936,796	16,621,648	8,315,148
評価損益等調整前当期経常増減額	440,630	2,393,563	-1,952,933
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	440,630	2,393,563	-1,952,933
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	440,630	2,393,563	-1,952,933
法人税、住民税及び事業税	7	0	7
当期一般正味財産増減額	440,623	2,393,563	-1,952,940
一般正味財産期首残高	2,743,104	349,541	2,393,563
一般正味財産期末残高	3,183,727	2,743,104	440,623
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	6,046,052	6,000,000	46,052
受取寄付金	6,046,052	6,000,000	46,052
一般正味財産への振替額	-9,304,751	-5,541,305	-3,763,446
一般正味財産への振替額	-9,304,751	-5,541,305	-3,763,446
当期指定正味財産増減額	-3,258,699	458,695	-3,717,394
指定正味財産期首残高	3,258,699	2,800,004	458,695
指定正味財産期末残高	0	3,258,699	-3,258,699
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	3,183,727	6,001,803	-2,818,076

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
医療積立預金	3,258,699	6,046,052	9,304,751	0
認定団体支援準備金	1,000,000	0	0	1,000,000
情報管理及びリレーション活動準備金	1,400,000	0	1,378,573	21,427
WEBサイト構築準備金	0	2,160,000	0	2,160,000
合 計	5,658,699	8,206,052	10,683,324	3,181,427

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
認定団体支援準備金	1,000,000	0	1,000,000	0
情報管理及びリレーション活動準備金	21,427	0	21,427	0
WEBサイト構築準備金	2,160,000	0	2,160,000	0
合 計	3,181,427	0	3,181,427	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金計上による振替額	9,304,751
合 計	9,304,751

財産目録

平成30年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	36,831
	預金	普通預金		316,466
		三井住友銀行広尾支店		265,341
		ジャパンネット銀行		50,125
		ゆうちょ銀行		1,000
	流動資産合計			353,297
(固定資産)				
	特定資産			
	認定団体支援準備金	ジャパンネット銀行		1,000,000
	情報管理及びリレーション活動準備金	三井住友銀行広尾支店		21,427
	WEBサイト構築準備金	ジャパンネット銀行		2,160,000
	固定資産合計			3,181,427
	資産合計			3,534,724
(流動負債)				
	未払金			314,607
	山本和子		ディレクション代	30,000
	小田亮子		COPY代	20,000
	尾崎絵里		英訳代	10,000
	(株)Sabeevo		広告費用	108,000
	未精算経費			146,607
	預り金			36,390
	源泉所得税			36,390
	流動負債合計			350,997
	負債合計			350,997
	正味財産			3,183,727

第Ⅸ期 事業報告書

2018年6月1日～2019年5月31日

当法人の活動目的は、人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくことである。そのために、以下3つの活動を行い、また当法人の組織基盤の強化も図りながら、日本の動物福祉を世界トップレベルまで引き上げていくことを目指す。

- ① 動物福祉活動に従事する非営利法人に対して寄付支援を中心とする活動支援
- ② 動物福祉に対する考え方や情報を社会に発信していくセミナー等の企画運営
- ③ セミナー、WEB掲載等に活用するための情報リサーチ

1. 寄付支援事業

【目的と意義】

2011年9月にカットオーバーされた「アニマル・ドネーション」を通じて、支援先団体と寄付者を結び付ける事業である。支援先団体としては、遺棄動物の保護団体や補助犬育成団体や動物愛護の精神を啓発する団体等を対象としている。これらの対象法人の活動資金源の過半は「寄付」である。寄付による支援活動を活発化させることにより、動物福祉の底上げを図ることを目的としている。また、誰しものが気軽に寄付による支援が行えるオンラインでの寄付システムの提供や、企業等と協力した寄付の仕組みを提供することで、日本に寄付文化が定着していくことに貢献することも目的としている。

9期、寄付の総額は1億円を超え、業界へのインパクトやサイトへの信頼性は増した。

1) 個人からの寄付支援事業

クレジットカードによるオンライン寄付システムを提供し、個人からの寄付を集め、支援先団体へ届ける事業。また、寄付金を募りやすい環境を作るために、支援先団体向けの活動支援や情報共有、勉強会運営、印刷物発行などを行う。寄付者に対しては、支援先団体の活動状況や、寄付金の使途、課題に対する情報などを、オンラインサイト内の記事やSNSなどを利用して提供する。

個人からの今期の寄付金額は、613万円、累計では、2,362万円となり、支援先団体数は2019年5月時点で16団体（通算20団体）となっている。

また、2018年8月システム全面変更を実施。従来のクレジットカード決済方法に加え、利用者の利便性を検討しAmazonPayを導入した。また、口座振込寄付の受付を開始した。

そして、動物福祉や寄付に対して、一般の方々の興味注目を促すよう、直接寄付とは関係のない業種とコラボレーションを企画。映画「犬ヶ島」とのコラボレーションを映画公開時期に特別期間限定寄付企画を実施し、狙い通り日本の動物の現状をあまりよく知らない層からの寄付を約3カ月で約108万円を集めた。またアニドネ主催で写真とペットへの想いを綴ると1000円の寄付になる「STORY with PET企画」を実施。こちらは、約500投稿で50万円の寄付を実施した。

2) 企業団体からの寄付支援事業

企業の社会貢献として当法人と協働した寄付企画を立案し実行する事業。企業の扱う商品の一部が寄付となる商品開発や、企業と協働した寄付キャンペーンの企画立案を行う。日本においても、近年は社会への貢献のあり方が多様化し、寄付を行いたいという企業は多くある。その際に、企業が寄付活動に取り組みやすい環境を作るために、企画立案やコンサルティングを行う。

企業団体からの今期の寄付金額は、1,510万円、累計では、9,443万円となった。

今期は事業撤退や縮小する企業が続き、企業寄付は約120万円減少した。

2. セミナー等の企画運営事業

【目的と意義】

犬や猫の動物飼養に対する正しい認知・知識を社会全体で持つことが、人も動物も暮らしやすい社会づくり、動物福祉の向上にとって重要である。特に、社会全体への発信力が大きいメディア関係者や動物飼養者との接点が多い動物事業関係者の認知・知識が底上げされていくことが重要と考える。

そこで、子供、学生、一般の方々などを対象とするセミナー等の開催を通じて、社会全体の認知・知識の向上を積極的に行っていく。内容は、動物飼養や動物福祉に関する歴史や正しい知識を学べ自身がどう行動すべきか、を考えられるセミナーとなっている。

今期は、大学生、親子、犬の飼養者を対象にしたセミナーを4回開催した。当初計画をしていた、遺贈寄付対象セミナーは、遺贈を考える層へのアプローチをより検討をした後に実施したほうが良いと判断し、今期は実施せず。来期への課題として残した。

◆日時:2018年7月23日 11:00-12:30

場所:日本福祉大学 美浜キャンパス 320 大講義室

対象者:子ども発達学部 心理臨床学科 社会福祉論(1年生科目)

人数:1年生 125名

テーマ「知ってみよう 動物の福祉について」

講師:糸ひとみ

◆日時:2018年11月27日 11:30-12:30

場所:新橋第一ホテル

対象者:新橋ロータリークラブ会員

人数:50名

テーマ「日本の動物福祉について」

講師:西平衣里

◆日時:2019年3月16日 13:30-15:30

場所:目黒会議室

対象者:クラブアニドネ

人数:10名

テーマ「日本と世界の動物福祉について」

講師:西平衣里

◆日時:2019年5月19日 13:30-15:30

場所:犬のようちえん 白金教室

人数:20名

テーマ「アニマル・ドネーションと5年後の未来を変える!」

講師:西平衣里

3. リサーチ事業

【目的と意義】

動物福祉に関する多様な考え方や情報を共有していくことが、社会全体の関心を高め、業界全体がボトムアップしていくために重要である。そこで、国内・海外の事例のリサーチ、専門家インタビュー等を通じて、動物福祉に関するナレッジを蓄積していく。

事例のリサーチに関しては、当法人のボランティアスタッフが書籍・WEBから情報を集めてまとめていく。

また、動物関係事業者や有識者へのインタビューや、関係者同士の勉強会も行いながら、業界が抱えている課題やベストプラクティスを学び合っていく。

そのようにして蓄積したナレッジは、セミナーで参加者に共有していき、また、当法人のサイト掲載を通じて広く社会に発信していく。

今期は、海外に実施に住み、各国の動物事情に直接触れた人物を探してインタビューを実施(スイス・ドイツ)。リアルな動物事情を記事にしてWEBサイトへ掲載した。

4. 管理事業

【目的と意義】

当法人の目的や活動内容に理解・賛同をして、共に活動にしていただける方の拡大は、当法人の活動展開の上できわめて重要であり、活動の源となる。よって、当法人への会員になることで会費を提供いただく会員制度やボランティアという労力で活動を支える会員制度を設立し、活動規模を拡げる目的である。

1) 賛助会員制度の導入

一口 3 千円からの個人賛助会員と一口 3 万円法人賛助会員を設ける。入会した賛助会員に向けては、会報誌の配布を通じた活動報告、毎月のメールマガジンの配布を行い、理解と関心を深めていただく施策を実施している

今期は、個人賛助会員 34 口・法人賛助会員 1 口・正会員 1 口、合計 18 万 2,000 円を募った。

2) スタッフの拡充

有償スタッフやボランティアスタッフを拡充し、組織運営の基盤強化を進めていく。活動内容は、会報誌の制作、SNSや当法人サイトを使っての情報発信、リサーチ活動、寄付金管理業務の強化を実施した。

今期は、ボランティアスタッフをさらに拡充し約 50 名弱体制としている。

3) 外部アドバイザーボードの設置

法人運営の拡大や透明性を高めるために、動物学、経営学の有識者数名を外部アドバイザーに迎えて、「アニマル・ドネーション外部審議会」を設置する。年 1 回審議会を開催して、支援先団体の選定に関する審議や、当法人の運営についてアドバイスをもらった。

今期の審議会は、外部有識者 4 名、当法人の代表理事 1 名の合計 5 名で構成している。

5. 税額控除に係る証明申請

寄付者の皆様から頂いた寄付が税額控除の対象となるように、税額控除に係る証明の申請を行い、平成 30 年 5 月 29 日から平成 35 年 5 月 28 日までの期間の証明書を受領し活動継続した。

以上

決 算 報 告 書

(第9期)

自 平成30年6月1日
至 令和元年5月31日

公益社団法人アニマル・ドネーション

貸借対照表

令和元年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	36,831	36,831	0
普通預金	757,250	316,466	440,784
流動資産合計	794,081	353,297	440,784
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
医療積立預金	2,948,173	0	2,948,173
認定団体支援準備金	0	1,000,000	-1,000,000
情報管理及びリレーション活動準備金	0	21,427	-21,427
WEBサイト構築準備金	387,600	2,160,000	-1,772,400
情報管理システム構築計画積立預金	200,000	0	200,000
WEBサイト再構築積立預金	800,000	0	800,000
特定資産合計	4,335,773	3,181,427	1,154,346
固定資産合計	4,335,773	3,181,427	1,154,346
資産合計	5,129,854	3,534,724	1,595,130
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	849,344	314,607	534,737
預り金	37,921	36,390	1,531
流動負債合計	887,265	350,997	536,268
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	887,265	350,997	536,268
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
寄付金	2,948,173	0	2,948,173
指定正味財産合計	2,948,173	0	2,948,173
(うち特定資産への充当額)	2,948,173	0	2,948,173
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	1,294,416	3,183,727	-1,889,311
一般正味財産合計	1,294,416	3,183,727	-1,889,311
(うち特定資産への充当額)	1,294,416	3,181,427	-1,887,011
正味財産合計	4,242,589	3,183,727	1,058,862
負債及び正味財産合計	5,129,854	3,534,724	1,595,130

正味財産増減計算書

平成30年 6月 1日から令和元年 5月31日まで

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	182,000	222,000	-40,000
正会員受取会費	50,000	0	50,000
賛助会員受取会費	132,000	222,000	-90,000
事業収益	561,260	678,897	-117,637
寄付支援事業収益	388,800	605,897	-217,097
セミナー事業収益	50,000	73,000	-23,000
リサーチ事業収益	122,460	0	122,460
受取寄付金	18,284,507	24,476,424	-6,191,917
受取寄付金	15,229,680	15,171,673	58,007
受取寄付金振替額	3,054,827	9,304,751	-6,249,924
雑収益	55	105	-50
受取利息	55	105	-50
経常収益計	19,027,822	25,377,426	-6,349,604
(2) 経常費用			
事業費	17,460,126	22,977,706	-5,517,580
会議費	359,715	881,725	-522,010
旅費交通費	815,580	739,875	75,705
通信運搬費	293,056	233,061	59,995
広告宣伝費	2,308,936	785,146	1,523,790
消耗品費	284,556	323,714	-39,158
保険料	22,500	17,000	5,500
租税公課	400	0	400
支払寄付金	12,596,294	19,287,591	-6,691,297
支払報酬	27,000	119,040	-92,040
委託費	14,040	0	14,040
支払手数料	738,049	566,224	171,825
雑費	0	24,330	-24,330
管理費	3,457,007	1,959,090	1,497,917
会議費	145,757	7,433	138,324
旅費交通費	40,876	22,200	18,676
通信運搬費	319,771	815,669	-495,898
消耗品費	134,591	37,574	97,017
地代家賃	206,958	123,692	83,266
保険料	0	0	0
租税公課	500	5,400	-4,900
支払報酬	988,800	822,600	166,200
委託費	1,370,000	60,000	1,310,000
支払手数料	213,790	64,522	149,268
雑費	35,964	0	35,964
経常費用計	20,917,133	24,936,796	-4,019,663
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,889,311	440,630	-2,329,941
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,889,311	440,630	-2,329,941
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-1,889,311	440,630	-2,329,941
法人税、住民税及び事業税	0	7	-7
当期一般正味財産増減額	-1,889,311	440,623	-2,329,934
一般正味財産期首残高	3,183,727	2,743,104	440,623
一般正味財産期末残高	1,294,416	3,183,727	-1,889,311
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	6,003,000	6,046,052	-43,052
受取寄付金	6,003,000	6,046,052	-43,052
一般正味財産への振替額	-3,054,827	-9,304,751	6,249,924
一般正味財産への振替額	-3,054,827	-9,304,751	6,249,924
当期指定正味財産増減額	2,948,173	-3,258,699	6,206,872
指定正味財産期首残高	0	3,258,699	-3,258,699
指定正味財産期末残高	2,948,173	0	2,948,173
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	4,242,589	3,183,727	1,058,862

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
医療積立預金	0	6,003,000	3,054,827	2,948,173
認定団体支援準備金	1,000,000	0	1,000,000	0
情報管理及びリレーション活動準備金	21,427	0	21,427	0
WEBサイト構築準備金	2,160,000	0	1,772,400	387,600
情報管理システム構築計画積立預金	0	200,000	0	200,000
WEBサイト再構築積立預金	0	800,000	0	800,000
合 計	3,181,427	7,003,000	5,848,654	4,335,773

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
医療積立預金	2,948,173	2,948,173	0	0
WEBサイト構築準備金	387,600	0	294,416	93,184
情報管理システム構築計画積立預金	200,000	0	200,000	0
WEBサイト再構築積立預金	800,000	0	800,000	0
合 計	4,335,773	2,948,173	1,294,416	93,184

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金計上による振替額	3,054,827
合 計	3,054,827

財産目録

令和元年 5月31日現在

公益社団法人アニマル・ドネーション

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	36,831
	預金	普通預金		757,250
		三井住友銀行広尾支店		296,656
		ジャパンネット銀行		459,594
		ゆうちょ銀行		1,000
	流動資産合計			794,081
(固定資産)				
	特定資産			
	医療積立預金	ジャパンネット銀行	助成事業の積立資産である	2,948,173
	WEBサイト構築準備金	ジャパンネット銀行	助成事業の積立資産である	387,600
	情報管理システム構築計画積立預金	三井住友銀行広尾支店	助成事業の積立資産である	200,000
	WEBサイト再構築積立預金	三井住友銀行広尾支店	助成事業の積立資産である	800,000
	固定資産合計			4,335,773
	資産合計			5,129,854
(流動負債)				
	未払金			849,344
	(株)スリーリーフクローバー		サーバー利用代金	7,110
	(株)ゴーフォックス		サーバー運用保守	54,000
	(株)Sabeevo		サイト運用保守	27,600
	司法書士法人飯塚リーガルパートナーズ		規約作成	32,400
	(株)リンク		メール利用料	5,400
	(株)USEN ICT Solutions		Kintone利用料	9,720
	山本和子		広告等デジタルコミュニケーション代	30,000
	浅井暁子		営業事務委託費	38,884
	未精算交通費等			644,230
	預り金			37,921
	源泉所得税			37,921
	流動負債合計			887,265
	負債合計			887,265
	正味財産			4,242,589